

寺小だより

令和4年度 10月号 NO.7
富田林市立寺池台小学校
校長 阪上佐智子
☎ 0721-29-1477

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト さんの言葉『子は親の鏡』を紹介します。有名な言葉なのでご存じかもしれません。私自身の子育ては、「あ～やってしまった」と後悔することの連続でした。イライラしたり、悩んだりした時にこの言葉で、「よし、次こそ」と思い直すことができました。かんべき完璧な子育てなどありません。けれども、すこやかな子どもに育てて欲しいと思う心は、みんな一緒ではないでしょうか。

ドロシーさんの言葉を胸に、寺小の子どもたちに接していきたいと思います。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、らんぼう乱暴になる
不安げな気持ちでいると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもをほか馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人をうらや羨んでばかりいると、子どもも人をうらや羨むようになる
しか叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
ほげ励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
ほめてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
みと認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、がんばり屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、せいぎかん正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
わき和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは「この世の中はいいところだ」と思えるようになる